

汎用的教育コンテンツ利用実績紹介フォーム

1. 利用情報

教育機関名	大阪成蹊大学		
学部・学科名	マネジメント学部 マネジメント学科		
コース名・講座名等	メディアビジネスコース		
対象学年・受講者数	2 年次 20 名 (講座等の履修登録者数を記載してください)		
講座実施期間	2014 年 6 月 ~ 2014 年 7 月		
利用コンテンツ名 (該当□をプルダウンで■にしてください)	<input type="checkbox"/> プロジェクト型システム開発チーム演習教育コンテンツ <input checked="" type="checkbox"/> パーソナルスキル(ロジカルシンキング)養成教育コンテンツ <input type="checkbox"/> ソフトウェア開発技法実践的演習教育コンテンツ <input type="checkbox"/> 情報セキュリティ実践的教育コンテンツ <input type="checkbox"/> 「要求工学を活用した問題発見と情報システムによる解決」実践的教育コンテンツ		
コンテンツの利用形態 (該当□をプルダウンで■にし、必要事項をご記入ください)	1. 利用したコンテンツ		
	<input checked="" type="checkbox"/> ①シラバス	<input type="checkbox"/> ⑥テスト問題と解答例	
	<input checked="" type="checkbox"/> ②講義スライド	<input type="checkbox"/> ⑦ティーチングガイド	
	<input type="checkbox"/> ③講義ノート	<input type="checkbox"/> ⑧受講レポート	
	<input checked="" type="checkbox"/> ④演習課題	<input type="checkbox"/> ⑨ソースコード	
	<input type="checkbox"/> ⑤各種設計書		
	2. コンテンツの利用方法について		
	<input type="checkbox"/> 1.教育コンテンツ全てをそのまま利用		
	<input checked="" type="checkbox"/> 2.教育コンテンツの一部をそのまま利用 (利用範囲) 第9回 ロジカルシンキングの活用を用いて、提示した事象に関する課題の分析を行った。その後PBLの中で行う課題分析でこの思考法(ツール)を活用させた。		
	<input type="checkbox"/> 3.教育コンテンツを改変して利用 (改変範囲) 練習のテーマについては、別途用意した。		

講座の全体構成(シラバス) ※単元ごとの学習項目、講義形態、コンテンツ利用の有無を記す

単元と時間配分(1コマ= 90分で実施)		プルダウンで該当項目を選択してください	
* 短期集中講座の場合は、日単位で結構です		講義形態 (座学、個人演習、チーム演習)	単元でのコンテンツ利用の有無
1	問題発見手法の演習	座学	有
2	PBLにおける解題解決のプロセスの中の課題発見と分析に活用した	チーム演習	無
※集中のため、提供コンテンツに関する部分のみを記述			
特記事項			

コンテンツ利用の狙い・目的	様々な思考ツールについて、共通の資料で学習できるため、質の均一化を図ることができる。
講座の位置づけ 学生の履修前提条件	ゼミ(科目名:専門演習1)の中の一部で利用。学生は、必須科目として履修。
授業の進め方	座学で、コンテンツを用いて説明を行った後に、グループ活動で実践的に活用させた。 グループ活動では、活動の様子を録画するための映像機器一式や調べ学習のためのPCを利用。 グループ活動では、最終的にはグループ毎でプレゼン資料の作成、および事後学習として各自レポートを作成して提出。
産学連携で実施した場合の 企業支援内容 (該当の場合のみ)	グループ討議では、学生の意見に対して、ファシリテータとして企業人が同席した。

2. 講座実施後の情報

受講者の感想 (本講座で得られたもの)	思考ツールを用いた意見の整理には、あまり慣れておらず少し戸惑っていたようであるが、考える筋道が示されており、比較的意見をまとめやすかったように見受けられる
教員の評価	グループ討議等では、テーマなどは教員の専門領域を活かすことができるが、討議法などはそれぞれが知っている数少ない方法を用いるため、マンネリ化が懸念される。こうしたコンテンツを用いることで、様々な思考ツールを利用して、ケースバイケースで問題解決にあたることができるようになることが期待できる。
今後の展望 (継続に向けた課題)	今回は、全体の中の一部のコンテンツのみを使用しているため、まだ利用していないコンテンツで紹介されている思考ツールについても利用していきたい。
その他(ご意見等)	資料は非常に作り込まれており、またレポートなどもフォーマットが用意されており、非常に授業準備がはかどる。また、多くの思考法について紹介することができるため、今後はきちんと15回分のコンテンツの流れに沿って利用することも検討したい。